

松江市史講座 2018年10月

星上寺大餅行事の変遷—中世から近現代まで—

喜多村 理子

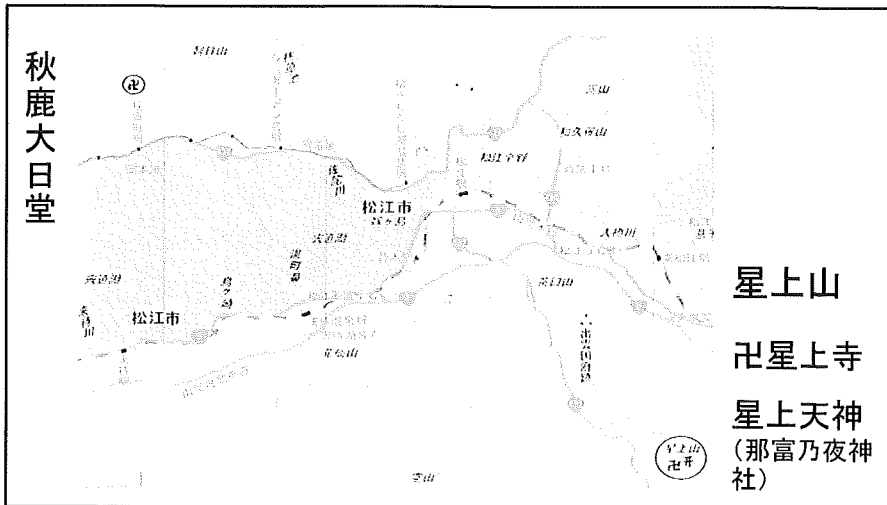
☆はじめに

- * 民俗行事「オコナイ」は、寺院の修正会・修二会と民間の豊作祈願が結びついた行事
- * 滋賀県湖北地方・甲賀地方に多く分布、出雲地方も比較的多い。
- * 呼称は各地さまざま
- * 出雲地方では、オトウ(御頭・御当・御塔・御袴など)、大餅神事、伽藍さん、オコナイ、おもつつあん等々

1

2

❖『三宝絵』984年
 「此月(二月)ノ一日ヨリ、モシハ三日、五夜、七夜、山里ノ寺々ノ大ナル行也。ツクリ花ヲイソギ、名香ヲタキ、仏ノ御前ヲカザリ、人ノイルベキヲイル、コト、ツネノ時ノ行ニコトナリ」
 ❖『今昔物語集』12世紀前半
 「今昔、比叡ノ山ニ有ケル僧ノ、(中略)山ヲ去テ、本ノ生土ニテ、摂津ノ国「」ノ郡ニ行テ(中略)才賢キ者ニハ無ケレドモ、然様ノ程ノ事ハ心得テシケレバ、修正ナド行ニモ、必ず此ノ僧ヲ導師ニシケリ。其ノ行ヒノ餅ヲ此ノ僧多ク得タリ。」



3

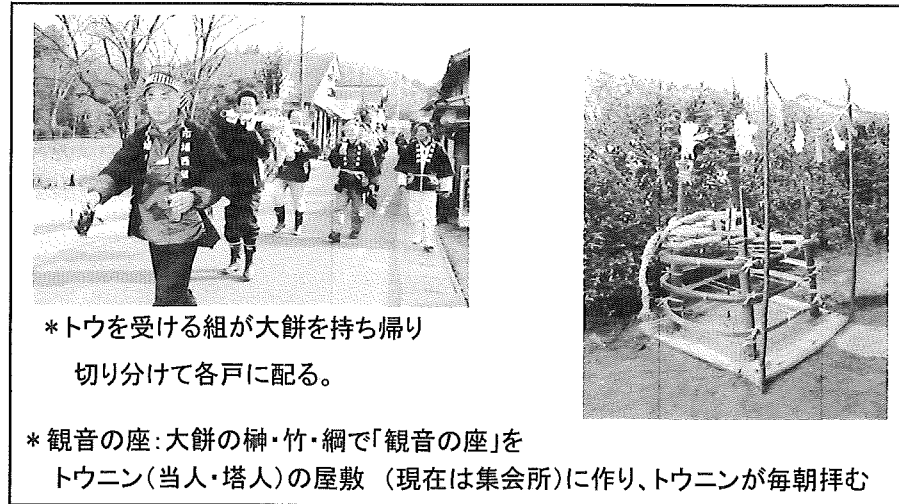


4



神木(御幣をつけた榊)を先頭に星上山に登る
 児童が那富乃夜神社(星上天神)に天神餅を奉納
 境内で大餅を担ぎながらぶつかり合った後に堂入り
 仏前に神木、大餅を奉納

5



*トウを受ける組が大餅を持ち帰り
 切り分けて各戸に配る。

*観音の座:大餅の榊・竹・綱で「観音の座」を
 トウニン(当人・塔人)の屋敷(現在は集会所)に作り、トウニンが毎朝拜む

6

「星上大餅御當年請取渡シ書記帳」
 毛社神社旧蔵

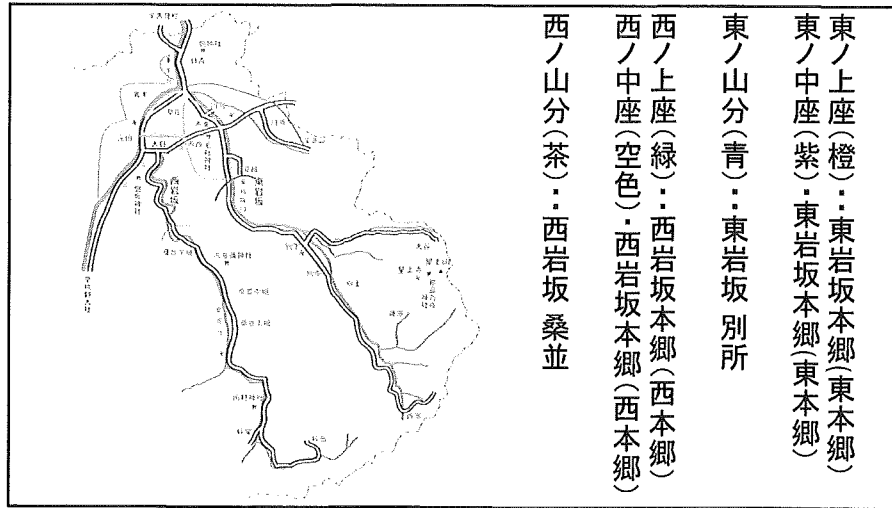
寛文6年
 (1666)
 |
 平成10年
 (1998)

7

星上山オトウの座と名

<p>東ノ上座</p> <ul style="list-style-type: none"> * 本願名 * 佐藤次名 * 中ノ村名 * 平次郎名 * 太郎丸名 <p>東ノ中座</p> <ul style="list-style-type: none"> * 戸波名 * 下川原名 * 権ノ神名 * 上川原名 * 畠中名 	<p>東ノ山分</p> <ul style="list-style-type: none"> * 大谷名 * 向名 * 広岡名 * 別所八つ口名 * 本郷八つ口名 * 別所名 * 足立名 * 伊豆名 * 八つた三田名 * 和田名 * 和田名 * 小原名 	<p>西ノ上座</p> <ul style="list-style-type: none"> * 神納名 * 大日名 * 下本田名 * 青木名 * 上本田名 <p>西ノ中座</p> <ul style="list-style-type: none"> * 宝屋名 * 具租名 * 鍛冶屋名 * 兵衛次名 * 公文分名 * 東ノ保人名 * 西ノ保人名 	<p>西ノ山分</p> <ul style="list-style-type: none"> * 一ノ原名 * 二ノ原名 * 田中名 * 越路名 * 源大夫名 * 清大夫名 * 福谷名
--	--	--	---

8



9

名の区域と面積

東ノ上座
 * 本願名 (2町6反7畝27歩)
 * 佐藤次名 (3町3反2畝21歩)
 * 中ノ村名 (2町6反9畝8歩)
 * 平次郎名 (3町4反3畝3歩)
 * 太郎丸名 (3町3反4畝9歩)

東ノ中座
 * 戸波名 (4町7畝17歩)
 * 下川原名 (3町8畝12歩)
 * 権ノ神名 (3町2反9畝11歩)
 * 上川原名 (3町3反3畝15歩)
 * 畠中名 (2町7反8畝3歩)

10

❖『雲陽誌』(享保2年・1717年)
 毎年正月十一日、東西の土人、三尺の鏡餅六を調、同十四日星上仏前に供す、十六日白餅を当人の家にうつし相あつまる、是を当定の会といふ、蓋明年仏事に幹するものを定るの謂なり

❖『出雲鑑』(18世紀半ば成立)
 正月十七日会式、仏納トウニ当ル人、三石三斗ノ鏡ヲ奉備
 →
 六塔(六座のトウニン)が一枚ずつ奉納
 3石3斗は一枚5斗5升

別所の山根家資料
 弘化2年(1845) トウニンを
 給わる
 弘化3年(1846)大餅奉納
 御鏡餅 七斗七升
 餅棒 十名

11

❖寛文8年(1668)
 本願名 清蔵方
 佐藤次名 太助
 戸波名 平右衛門方
 下河原名 与右衛門

❖寛文9年(1669)
 佐藤次名 太助方
 中村名 清三郎
 下川原名 与右衛門方
 上川原名 市郎右衛門

❖寛文10年(1670)
 中ノ村名 清三郎方 平次郎名 久兵衛
 上川原名 市郎右衛門方 畠中名 五郎右衛門
 西ノ公文名 喜右衛門方 具租名 五郎兵衛

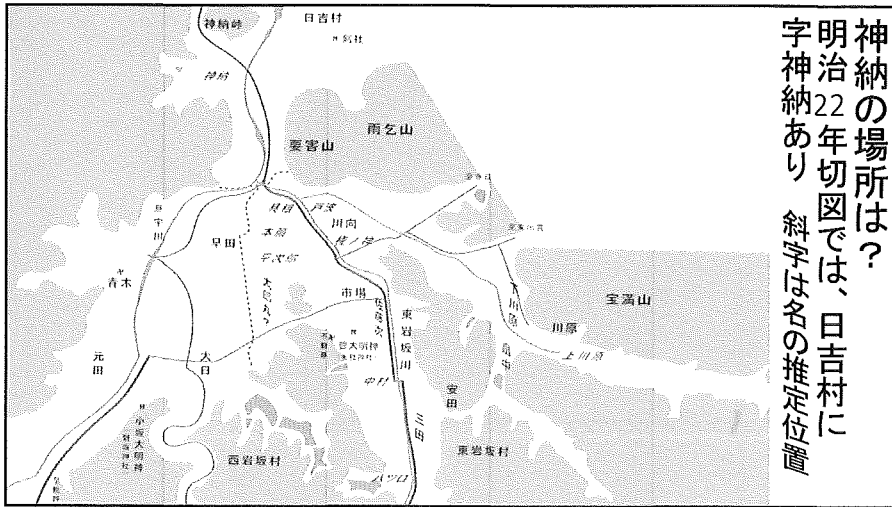
12

東本郷から奉仕する名	西暦	東上座	東中座	その他
	• 1737	本願名	戸波名	西岩坂村方 兵衛次名
	• 1738	佐藤次名	下川原名	西岩坂村惣助方 神納名
	• 1739	中ノ村名	後ノ上名	
	• 1740	平次郎名	上川原名	西ノもんば名方 具租名
	• 1741	太郎丸名	畑中名	別所広岡名方 三田名
	• 1742	本願名	戸波名	
	• 1743	佐藤次名	下川原名	
	• 1744	中ノ村名	後ノ神名	別所和田名方 本郷八ツ口名
	• 1745	平次郎名	上川原名	西ノ保人名方 具租名
• 1746	太郎丸名	畑中名		
• 1747	本願名	戸波名	西岩坂方 兵衛次名	

13

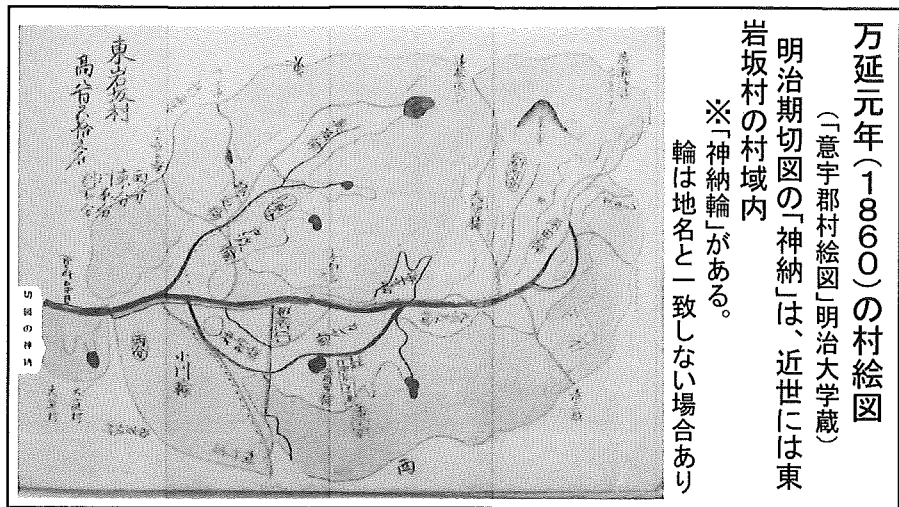
☆なぜ西ノ上座、西ノ中座、東ノ山分の名を、東本郷が受けるのか	
享保4年(1719)以前 * 3~9年目に具租名 * 1676年、1716年に兵衛次名 * 1704年、1716年に三田名 * 1707年に八ツ口名 * 1693年・1713年に 保人名・沙汰人名 ◆ 保人にサタニとルビをふる ☞ 保人名=沙汰人名	享保4年(1719)以後 * 西上座から6年毎に神納名 * 西中座から6年毎に具租名 * 西中座から11年毎に兵衛次名 * 西中座から21年毎に保人名 * 東山分から12年毎に三田名 * 東山分から12年毎に八ツ口名

14



神納の場所は？
 明治22年切図では、日吉村に
 字神納あり 斜字は名の推定位置

15



万延元年(1860)の村絵図
 (「意宇郡村絵図」明治大学蔵)
 明治期切図の「神納」は、近世には東
 岩坂村の村域内
 ※「神納輪」がある。
 輪は地名と一致しない場合あり

16